



「今日が楽しく明日が待たれる学校」

## 1月は行き、2月は逃げ、3月は去る ～時の流れに抗いながら～

新年の挨拶を交わしたのがつい先日なのですが、時の流れは確実に、万人に共通です。あっという間に2月を迎え、つい先日には立春を迎えました。しかし野原や道端の自然に目を向けると、梅花は今を盛りに咲き誇り、土筆など春の到来を告げる植物が少しずつ顔を出しているところです。

さて、古来「1月は行く月、2月は逃げ月、三月は去る月」といいます。これは、正月から3月までは行事が多く、あっという間に過ぎてしまうことを言ったものです。学校も、早くも3学期の2か月めに入り、ますます毎日のスピードが増しているように感じます。油津中の生徒の皆さんには、令和4年度を振り返って、自分が頑張ってきたことや成長したこと、あるいはもう少しだったことを確認し、残りの1か月余りでしっかり身につけて、次の学年に進級する準備をしてほしいです。

2月は、実際には一年の中で寒さが最も厳しい時期です。しかしながら、暦の上では4日に「立春」を迎え、春が始まりました。寒さはまだ厳しいですが、日脚が伸び、東風が吹くなど、少しずつ春の訪れを感じることができる時候です。3年生の私立受験、県立推薦受験も終わり、一つ山場を越えたところです。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザの流行等感染症が気になりましたが、生徒一人一人の自覚と保護者の皆様が健康管理を十分にしてくださった結果、入試を乗り切ることができたことを、本当にありがたく、感謝申し上げます。あともう少し、無事に終わることができるようお力をお貸しください。



## 心身ともに暖かい春を迎えるために

『心が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。』という言葉をお聞きになったことはありませんか？松井秀喜氏の座右の銘としても有名ですね。

年の始めや学期の始め、月の始めなどに、『〇〇の目標は』といって目標を掲げることがあります。これは言うまでもなく、それまでの自分を振り返り、なりたい自分の姿と今の自分とを対比して足りないところを補うために『目標』として言葉に表すことですね。しかしどうでしょう・・・？努力が続かず諦めてしまった、目標自体を忘れてしまったといった経験はありませんか？かくいう私もいつもこの繰り返しで、『目標を達成することは難しいなあ』と考え、続かなかった自分に対して自己嫌悪に陥ったりすることがあります。冒頭の言葉にあるように、心と行動と習慣を変えていくことが第一歩なのかもしれません。

3年生は、受験の第一関門に挑んだ人も多くいますが、これからが本番という人もいると思います。みんな目標に向かって頑張っている最中ですね。一人一人が、自己実現ができることを祈念してやみません。今まで準備してきた力を十二分に発揮してくれたことを信じ、吉報を待ちたいと思います。

このような3年生の姿を見ながら、1、2年生の皆さんはいろんなことを考えていることと思いますし、考えてほしいです。その中でも、目標達成と自分の心の在り方について、ここでは考えてみましょう。目標達成に向けて行動を起こしている時に、消極的な心が生じたり、壁が立ちはだかったりすることがあるかもしれません。壁を感じている時に、意気消沈させ、消極的な言葉や不安な言葉が心を支配していることはないでしょうか。そんな時、解決策を知識や技術から見出すこと以上に、「目標への積極性」が大切であることをマザー・テレサが語った言葉があります。

この言葉からは、『思考』が大きく左右することがわかります。負（マイナス）の思考ではなく、自分を強化する思考が大切なのです。冒頭の『心が変われば～』にもつながると思います。偉人が教えてくれる、「思い・気持ち」の大切さです。

ふと心によぎる「心配だ」「失敗するかもしれない」など弱音や悲観というようなものを表現する言葉を使ってしまうことがあるかもしれません。人間ですから、弱い自分との葛藤があることと思います。でも、その気持ちをかき消し、心を奮い立たせるような言葉を使って、自分を元気づけていきたいですね。気持ちが減入っているときは、「勇気をくれる言葉」「喜びを分かち合う言葉」「弱い心を打ち消す言葉」はなかなか自分に湧いてこないと思います。そんな時は、友達や家族、学校の先生方に相談してみるのもいいですね。(9月号に相談窓口の先生方は載せています)

心を軽くして、『なりたい自分』になれるよう、皆さんが自信をもって積極的に活動してくれることを期待しています。

思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。  
言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。  
行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。  
習慣に気をつけなさい、それはいつか性格になるから。  
性格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。  
(マザー・テレサ)

## ボランティア活動 ～本年度これまで約200人が参加しました。～

2月1日のプロ野球キャンプインに備えて、去る1月28日に天福球場周辺の清掃活動が行われ、油津中学校からも1、2年生を中心に21名が参加しました。冷たい風が吹く中での活動でしたが、参加者は3つのコースに別れて活動しました。思いのほか多くのゴミ（多いのはたばこや空き缶、なかには紙おむつのようなもの）があり、充実した活動となりました。ただ、たばこやおむつなど、大人のモラルが問われる物が多く、残念な気持ちにもなりました。

本年度は、これまで計7回のボランティア活動に参加しました。内訳は、花の植栽活動（2回）、EM菌培養液作製・頒布（1回）、夢見橋でのイルミネーション装飾の飾り付けと撤去（各1回）、地域清掃（2回）で、参加者数は延べ約200人です。これは、全校生徒が約1、3回参加した数です。今まで校長として5校に勤務しましたが、こんなに参加者が多い学校は油津中が初めてです。改めて子どもたちの活動意欲の高さと、地域や保護者の皆様の熱心な取組に感心させられました。

3月には、本年度最後の活動が計画されています。内容は花壇の花の植栽活動です。また募集をかけますので、積極的な参加をお待ちしています。



## 地域の方々による面接指導 ～学校運営協議会を中心に～

高校入試本番を迎え、本校では今年から地域の方々をお迎えして模擬面接に取り組んでいます。近年多くの学校・学科が入試の際に個人や集団での面接を導入しています。また、現高校1年生が中学3年生だった昨年度の県立高校の入試から、県立高校の推薦入試の形態が大きく変わり、自己推薦制に移行しました。その内容や方法も多様で、従来の面接に加え、プレゼンを課す学校・学科も出てきました。このような変化に対応し、地元油津や宮崎・日本の未来を担う3年生に元気を与え、地域の人材を育てるべく、学校運営協議会のメンバーの方々へ協力を要請してこのような取組を始めました。

子どもたちもいつもにもまして真剣に取り組み、『うわー、ドキドキした』とか『緊張した』という素直な感想や『勉強になった』という手応えも感じていたようです。この取組は、この後県立一般入試まで続けます。



## 【各種表彰】

◎女子バスケットボール部 第43回全九州中学生バスケットボール春季選手権大会  
オンザコートカップ宮崎県予選会4位

◎津田くるみさん 日南市新春子どもの声を聞く会 優秀賞

題名『ふるさと』 《発表の骨子》

中学1年生の時に目にした北方領土と、その返還を希求するいくつもの看板から興味をもって調べうちに歴史的なことや人々の思いに触れた。高齢化する元島民の思い、そして現住する人々のことを考えることで、『ふるさと』の在り方に思いが至る。北方領土は、『元々住んでいた日本人のふるさとであると同時に、現在住んでいるロシアの人々のふるさとでもある』ので、互いの考えを交わし、尊重し合う解決策が必要。この思いを『はじめの一步』としたい。

<3月の主な行事予定>

日	曜	3月	日	曜	3月
1	水	安全点検	14	火	生徒集会 水曜校時
6	月	県立高校一般入試前日指導（3年生）			リフレッシュデー
7	火	県立高校一般入試1日目（3年生）	15	水	卒業生を送る会
		リフレッシュデー	16	木	第76回卒業式
8	水	県立一般入試2日目	17	金	県立高校合格発表 立志式（2年生）
9	木	巡回相談員来校	21	火	春分の日
10	金	避難訓練 3年特別校時～15日	24	金	修了の日
13	月	租税教室（3年）	27	月	学年末休業